

小社 5 年	気候の特色と人々のくらし(2)	組	氏名
No. 7 発展		番	

- 1 下の図は、あきこさんが「沖縄県に昔からある伝統的な家のくふう」についてまとめたものです。()の中にあてはまる言葉を書きましょう。

「沖縄県に昔からある伝統的な家のくふう」

屋根はひさしが深く、強い日差しは屋内まで届かない。

玄関がなく、家の中の()がよい。

屋根がわらを石灰と粘土を混ぜてつくった()で固めている。

「ふくぎ」という木を()として、植えている。日よけにもなる。

家のまわりをさんごを積んだ()で囲んでいる。

高い()や()をしのぐくふう

()からくらしを守るくふう

★やってみよう！

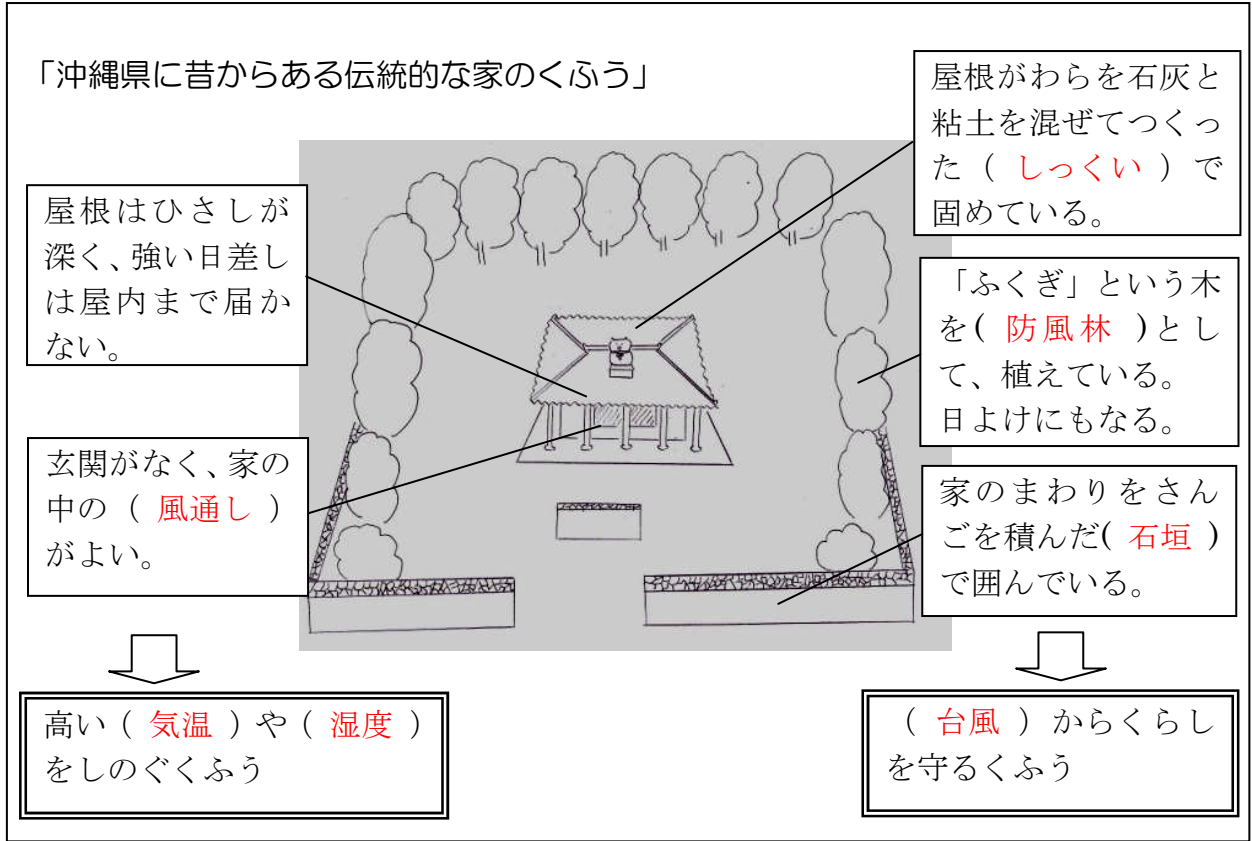
教科書「新しい社会5上」のp39の「寒い地域の家のくふう」を見て、北海道の家では、寒さや雪にそなえて、どのようなくふうをしているのか調べてみましょう。

()



小社 5年	気候の特色と人々のくらし(2)	組	氏名
No.7 発展		番	

1 下の図は、あきこさんが「沖縄県に昔からある伝統的な家のくふう」についてまとめたものです。()の中にあてはまる言葉を書きましょう。



★やってみよう！

教科書「新しい社会5上」のp39の「寒い地域の家のかんふう」を見て、北海道の家では、寒さや雪にそなえて、どのようなかんふうをしているのか調べてみましょう。

- 家の中はしっかりだんぼうがしてあり、あたたかい空気が外に出ないように、壁には断熱材がたくさん入っていて、二重まどになっている。
- だんぼうに必要な灯油とうゆをためておくために、大きな灯油タンクをそなえつけている。
- 水道管がこおって水が出なくなることを防ぐために、不凍せんふとうが付いています。
- 雪が積もりにくいように、屋根はトタン屋根で、かたむきも急になっている。

